

ぶらっとサロン椿通信 令和3年6月増刊号

今号の椿：紅の八入(くれないのやしお) 新種椿→

2016年自家栽培の園芸品種『式部』の自然実生が今年初めて咲きました



報告:有楽齋

毎週火曜日の午後1時過ぎから午後4時半ごろまで、朝日2丁目集会所で「健康麻雀ミーティング」をワイワイガヤガヤとやっていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年3月10日から自粛し**現在休業中**です。
本年発行よりタイトルに『椿』を加えました(有楽齋)

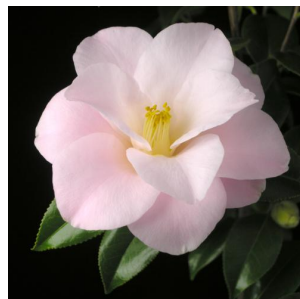
今日まで続く江戸の品種

江戸時代初期は品種選抜が各地で行われ、コレクション熱が高まり、全国から変化に富んだ珍品が江戸に集まり、品種は600以上あったと推測される。下記の品種をはじめとして、400年近くたった今日まで受け継がれているものも多い。

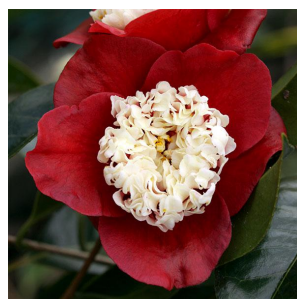
NHK 趣味の園芸 2020年1月号



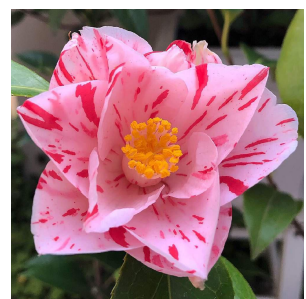
岩根絞 (いわねしぼり)
濃紅色に白雲状の斑が入る 12~13弁の八重咲き
開花期は春



羽衣 (はごろも)
濃桃色で基部はより淡い やや腰高の八重 蓮華咲き
開花期は春



ト伴 (ほくはん)
紅色 雄しべが白色に花弁化した唐子咲き 花期は春



春の台 (はるのうた)
淡紅地 白地に紅の縦絞り 白覆輪が入ることとも 八重咲き
開花期は晩春

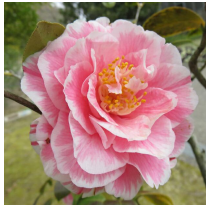
気候によく合い育てやすい

ツバキは日本が原産地のため、育てやすく、特別な手入れをしなくても、よく花が咲きます。庭植にすると、年数を重ねるにつれて大きくなるので、鉢植えでコンパクトに育てるとよいでしょう。晩秋から春までの開花期は、好みの花を確かめてから株を購入することができます。

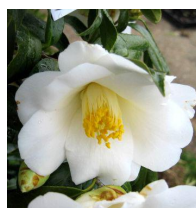
江戸の品種には、上記で取り上げた以外にも、「乙女椿」「都鳥」「光源氏」などがあります。また、京都や尾張、久留米、肥後などにも江戸時代からの品種が数多くあります。古くからの品種にこだわって種類を集めるのも、楽しみ方の一つです。 NHK 趣味の園芸 2020年1月号 園芸研究家前田 悟(名古屋椿協会会長)



乙女椿 (おとめつばき)
淡桃色が美しい 江戸時代に一世を風靡した品種で 現在も女性を中心に高い人気を誇る 春咲き



光源氏 (ひかるげんじ)
華やかさが好きな方にお勧めしたい江戸期からの古典品種 枝変わりが数種発表されている枝変わりに源氏絞(げんじしぼり)・紅牡丹(こうぼたん)・ルックアウェイ・オーキッドピンク・スプリングソネットなど多数。



都鳥 (みやこどり)
花弁が中折れした秀麗な蓮華咲き 江戸期からの人気の古典品種
呼子鳥(よぶこどり)・稲負鳥(いなおいどり)とともに**三鳥**にあげられる